

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	19106015	研究期間	平成19年度～平成23年度
研究課題名	高度な分子認識機能をもつ規則性ナノ細孔シリカの創製とその多様化	研究代表者 (所属・職)	辰巳 敬（東京工業大学・資源化学研究所・教授）

【平成22年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
	A+ 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)	
<p>本研究は、着実に進展しており、これまでの研究成果は学術的にも高い評価を得ている。また、研究成果の公表にも積極的で、Ang.Chem.Int.Ed., JACSなどの学術誌に掲載されており、新聞などにも成果が取り上げられている。</p> <p>研究組織に問題はなく、効率的に研究が行われていると判断できる。</p> <p>これまでの研究が最終目的とされる新規材料の創製にどのように生かされるのかという点でこれからの研究に期待できる。今後の研究計画、方針等を十分に研究組織のメンバーと議論し、最終目的に到達されるように期待する。</p>	

【平成24年度 検証結果】

検証結果	<p>多くの論文が発表され、かなりの研究実績が挙げられている点は評価できる。ただ、大きなブレイクスルーが見られず、本研究開始前に既に解明されていた事象を拡大発展させただけの研究が多いことが残念である。具体的には、①研究課題名に謳ってある「高度な分子認識機能をもつ」についてほとんど進展がなかったこと、②キラルシリカやシリカナノ粒子の調製法の研究のみで、これらの物質の新しい活用法が提案・実施されていない。今後の進展に期待する。</p>
A-	